

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23389	
事業名	首都圏シティプロモート推進費						
評価担当課	所属名	総)東京事務所 東京事務所					
	課長名	菊田 昭子	担当者名	高橋 陽平・岡 顕	電話番号	03-3216-5090	
施策名	主	シティプロモート戦略の積極展開					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	東京事務所とつながりを持つ札幌関係者数を増加させる。 アクションプラン2019における事業目標:2018年度 2千人→2022年度 6千人				
		長期	札幌圏にゆかりのある関係人口に着眼したプロモーションを行い、つながりを強化することで、札幌市やさっぽろ連携中枢都市圏への誘客等を促す。				
	取組内容	首都圏における本市及びさっぽろ連携中枢都市圏への支援者(関係人口)や支援企業等を獲得し、つながりを継続・強化するため、北海道や連携中都市圏、民間ネットワークと連携しながら、下記①～③について取り組む。 ①首都圏の札幌関係者(関係人口)のデータ一元化管理及び首都圏におけるコミュニティの掘り起こしや強化。 ②関係人口の拡大及びつながりの強化を目的とするイベントの開催。 ③首都圏に向けたメディア等を活用したシティプロモーションの実施と修学旅行誘致支援を行う。					
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>「首都圏さっぽろ応援ショップ」制度を活用し、登録店舗を約250店舗まで増加し、首都圏さっぽろ応援ショップガイドを更新・配布するとともに、グルメサイトと連携して首都圏におけるさっぽろファン(関係人口)の更なる拡大を図った。</li> <li>民間事業者が実施する札幌・北海道の食をテーマとしたイベントに協力し、札幌の観光・ふるさと納税等をPRするイベント(サッポロスマイルウイーク2021)を開催し、約1200人の来場者を集めた。</li> <li>コロナの感染状況に留意しながら、観光PRのイベント、修学旅行の誘致に係る商談会等に参加した。</li> </ul>						
事業実施における工夫点	・首都圏さっぽろ応援ショップガイドに企業広告を掲載することで印刷費用の節約を図った。						
対象者	首都圏在住者、首都圏拠点企業、在京メディア			開始	平成30年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	なし						
他都市の状況	他都市においても関係人口の拡大・強化を図るようなイベントの開催やシティプロモーションを実施してる。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	2,347	17,000	6,116	15,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	2.0	2.0	2.0	2.0	
人件費	14,400	14,400	14,400	14,400	
計(事業費+人件費)	16,747	31,400	20,516	29,400	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏さっぽろ応援ショップPR業務:3,553千円</li> <li>・サッポロスマイルウイーク2021:1,540千円</li> <li>・その他:1,023千円</li> </ul>			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏さっぽろ応援ショップPR業務:4,150千円</li> <li>・招待制のトップセールス型イベント(サッポロスマイルデー):6,500千円</li> <li>・一般参加制のオープン型イベント(サッポロスマイルウイーク):2,000千円</li> <li>・その他:2,350千円</li> </ul>			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	東京事務所とつながりを持つ札幌関係者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	3500	4500	5000	6000	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	年間来客数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	570万5千人	920万人	789万3千人	1430万人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、招待制のトップセールス型イベントは見送ったものの、首都圏さっぽろ応援ショップ制度を活用し、登録店舗の拡大(25店舗→250店舗)を図るとともに、民間事業者が実施したイベントに協力し、札幌の観光・ふるさと納税等をPRするイベントを開催し、新たな関係人口を創出したことで、「東京事務所とつながりを持つ関係者数」の目標値(4,500人)を超える5,000人を達成した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	国による地方創生政策の展開によって、首都圏では各都市による関係人口拡大の取り組みが急速に広がっている。今後、コロナ禍において、首都圏での札幌の魅力や認知度・好感度を維持・向上させていくためには、事業規模は適切であると考えます。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	新型コロナウイルス感染症拡大により、全国的に経済活動や医療活動への協力など、これまで以上に多方面から幅広い支援を獲得することが重要となる。このような中、人口の3分の1が集中する首都圏において、従来の観光客誘致のみならず、多様な支援を獲得するために、関係人口の拡大やつながりの強化を目的とした各種プロモーションを札幌市として実施することは必須かつ適切であると考えます。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに答えているか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、招待制のトップセールス型のイベントは見送ったものの、グルメサイトと連携した首都圏さっぽろ応援ショップ制度の拡大や民間事業者が実施したイベントに協力し、札幌の観光・ふるさと納税等をPRするイベントを開催するなど、コロナ禍でも首都圏にいながらにして、札幌・北海道に触れる機会を創出でき、「東京事務所とつながりを持つ関係者数」の目標値を超えたことから、ニーズには十分応えられたものと考えます。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	首都圏では他都市も含め、日々膨大な情報が発信されており、地方創生政策の展開により、従来通りのPR手法では都市間競争に埋没する懸念がある。また、コロナ禍において、関係人口層や在京コミュニティの拡大・定着のため、幅広い手法の検討を行う。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	コロナ禍で活動が制限される中でも、グルメサイトと連携した取組や札幌・北海道に触れるイベントを行ったことで、目標値を達成している。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 首都圏における本市及びさっぽろ連携中枢都市圏への支援者(関係人口)や支援企業等を獲得し、つながりを継続・強化するため、北海道や連携中枢都市圏、民間ネットワークと連携しながら、各種事業に取り組む。			
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 民間事業者と連携し、首都圏において人気の高い札幌・北海道関連のイベントへの出展を通じて、シティPRを進めていく。また、都内のビジネスコミュニティスペースを活用し、スタートアップ人材などとの新たなネットワークを形成することで、関係人口の増加を図る。		見直し効果額	0